

や、古墳群もある変化に富んだ15キロメートルの野山道を歩くサバイバルウォーク等での体験を通して、たくましい体と心を鍛えることができた。

また、班活動を主体とした、自主的な協同生活により、友情を深め、主体性と忍耐力、自然と調和して生活していこうとする心情を育てることができた。

- ③ 自然に親しみつつ、親子のふれあいを深める「親子キャンプのつどい」や「親子白銀のつどい」は、創意工夫してプログラムの改善に努め、親子のふれあいと他家族との交流・親睦が図られ、初期の目的を達成することができた。
- ④ スキーを通して「会津の冬」を体験させ、寒さに負けないたくましい心と身体を育てる「少年スキー教室」は県内各地から参加者があり、スキー技術の向上を図るとともに、初期の目的を達成することができた。
- ⑤ 「野外活動実技指導者研修会」は、野外活動の技術や指導力の向上を図ること、更に、青少年団体活動の指導者の育成をめざし、関係団体の指導者及び大学生や高校生へも参加を呼びかけ、充実した講師陣によって効果的に研修が進められた。
- ⑥ 子どもたちの自主性と創造性を育てる学校週5日制対応主催事業は7回実施した結果、次のような成果がみられた。

ア、事業の趣旨が理解され、親子での参加も多くなり、自然体験活動等を通して親子のふれあいを深めることができた。

イ、高校生や高齢者の参加もみられ、高校生は小・中学生のリーダーとして活躍し、また、児童・生徒から高齢者まで異年齢間の交流も図られた。

ウ、事業内容によっては、指導者として地域の高齢者等の人材を活用したが、参加者からも好評で、地域と施設のつながりを深めるとともに、地域の人材育成の面からも有意義であった。

#### (5) 施設・設備の保全と事故防止の徹底を図る。

- ① 防災組織と責任体制を確立し、日常および月例定期点検、年末点検を実施し、施設・設備の保全に努めた。
- ② 利用者の事故防止のため、事前の研修会や実地踏査あるいは事前の打合せ等の機会をとらえて、引率指導者に対する指導と注意事項の徹底を図った。
- ③ 広範囲な活動エリア内の保全と、山火事防止のため、野外コースのパトロール班を編成し、適時パトロールを実施して火災の防止とコースの安全確保に努めた。また、避難訓練を利用者が入所している時に実施し、非常時の防火組織の活動訓練を行うとともに、利用者の非常時に対する意識を高めた。
- ④ 防火査察、保安点検、所内環境測定等を実施し、事故防止、安全確保に努めた。
- ⑤ 給食委員会を定期的に開催し、食中毒の防止と食品の衛生管理にあたるとともに、調理員に対する衛生指導の徹底を図った。
- ⑥ 野外活動の充実と、野外施設の安全な利用のために、点検と有害昆虫の駆除に努めた。

#### (6) 職員研修を充実し、資質の向上を図る。

- ① 施設の望ましい運営や指導業務について、所内研修を計画的に実施し、職員の資質と指導力の向上に努めた。
- ② 施設近隣の市町村にある文化財等を調査、視察し、活動コースや活動プログラムの開発に努めた。
- ③ 所内における計画的な学習会や他施設の視察研修及び実技研修会（指導法を含む）を実施し、専門性の向上に努めた。
- ④ 県内外の施設との連携を密にし、情報交換を行い、研修効果を高めることができた。（県内三施設運営研究協議会、東北・北海道地区少年自然の家運営研究会、全国少年自然の家運営研究会等への参加）

#### (7) 委託業者との連携を図る。

- ① 委託業者との連携を密にして、施設の安全管理、食中毒の防止等に努めた。

### 3 職員組織

職名	所長	次長	主事	主任 運転手	主任 指導主事	指導 主事	社会 教育 主事	計
人員	1	1	2	1	1	5	1	12

## 第2節 施設・設備の概要

### 1 所在地

- 河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山 4495 - 1

### 2 宿泊定員

- 本館 25室 300名
- ロッジ 10棟 150名
- テント 20張 120名

### 3 敷地面積

- 251,432㎡

### 4 建物面積

- 延床面積 5,864.83㎡
- ・管理研修棟 ・宿泊棟 ・プレイホール ・アセンブリホール ・ロッジ ・野外活動管理センター ・野外炊飯場 ・野外トイレ ・車庫 ・浄化槽 ・ボイラー棟

### 5 設備備品等

- ・フィールドアスレチック ・スキー ・そり ・かんじき ・天体望遠鏡 ・双眼鏡 ・テレビ ・VTR ・16%映写機 ・野外活動用具 ・野外炊飯セット ・運動用具 ・サイクリング車 ・伝承遊びセット ・クラフト用具 ・ピアノ ・オルガン(2) ・アコーディオン ・OLコース ・営火場(4) ・その他